

## 笠井委員

日本共産党の笠井亮です。まず、HNS、油以外の有害危険物質による汚染事件に係る議定書をめぐってでありますけれども、臨海部に都市機能が集中する、中でも例えば東京湾は船舶のふくそう度が世界一とも言われて、貨物取扱量でも全国の一八%、そして船舶入港数でも一七%を占めるということで、HNSを満載した大型船舶が常時入出港しております。過去、死傷者を伴う重大な船舶事故もあり、航行管制が改善されてまいりました。環境面でも、他の海域に比べても最も閉鎖的で、そして狭い、浅い海域であって、一つの生態系として保全、再生に努力が払われてきたところであります。東京湾を初めとして、伊勢湾、瀬戸内海など、特定海域の持つ特性に基づいて、HNSの事故はもちろんですが、海上汚染をもたらす海難事故は絶対に発生させてはならないと思います。

海上保安庁が設置した調査研究委員会が昨年十月二十七日にまとめた提言では、「原因者等が講ずべき措置の明確化」の項目として、臨海部に都市機能が集中する一定の海域での対応を特に留意すべきということで強調しております。本議定書が求める緊急時の計画の策定に際して、どのようにこの提言の趣旨が生かされるようにするのか、海上保安庁から見解を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

## 富賀見政府参考人

お答え申し上げます。先生御指摘のとおり、東京湾は一日当たり約七百隻の船舶が出入港する状況であります。我が国有数の船舶交通がふくそうする海域であり、また先生御指摘のとおり、都市機能が臨海部に集中するなど、大規模な事故が発生した場合、経済的など著しい影響が生ずる可能性が高いと考えております。また、東京湾は閉鎖性海域であり、海水の循環が悪く、有害液体物質等が排出された場合においては海洋が著しく汚染されるおそれがあるというふうに考えております。

御指摘の国家的な緊急計画につきましては、現在のOPRC条約の要請を受けて策定しました油の国家緊急時計画を一部改正しまして、その中に対象として有害液体物質等を加えることとしております。その策定に当たりましては、油と同様、関係省庁と十分な調整をした上で、東京湾等の閉鎖海域においての事故が発生した場合、迅速に効果的に対処できるようにしたい、このように考えております。

## 笠井委員

極めて重要な問題でありますので、きちんとした対応をしていただきたいと思います。

委員長、大臣に……………。

麻生大臣、アジア協力対話、ACDの閣僚会議に出席をされて帰国をされたばかりということで、お疲れさまです。

この際、関連して伺っておきたいと思うんですが、今回の会議では、開催国のカタールのカミム首長代理が、アジア大陸を諸国民と諸文明間の協力と理解の生きた模範にしようという趣旨を呼びかけられて、中東地域をその中で安全と安定の地域にしようということで訴えたということで伺っております。

このように、我が国も参加をして、そしてアジア諸国が諸問題で協力し対話を進めていくという枠組みは、現在例えばどういうものがあって、そして政府としては、それらが持つ今日的意義について、総論で結構ですが、全体としてどのように評価をされているか、大臣の所見を伺いたいと思います。

## 麻生国務大臣

アジアの枠組みが、先生、これはすごく幅の広いのがACDなんだと思います。東は日本、それから西の一番端が中近東ということになると思いますが、南がスリランカ、インド、そして北がロシア、これを全部含めていわゆるアジアというところでダイアログ、対話をやろうじゃないかというの

で、五年前、タイのバンコクでしたか、たしかあそこでタイがスタートさせたんだと存じます。

そういった意味では、今ここには二十八カ国参加しておりますが、これはさらに中央アジア、ウズベキスタンとか等々入ってこようとしていますので、さらにもっとふえていくことは間違いないと思っております。よく言われますのが、いわゆるASEANというところですけども、ASEANプラス3で十カ国でしょうか、それからアジア首脳会議が十六カ国だと存じます。そういったので、ほかにアメリカが入りますAPECを入れますと二十一カ国だと思っております。ほかにもいろいろあろうと存じますが、私は基本的にはそれぞれ目的が少しずつ違っているとは思いますが。

今回の話にもありましたように、なかなかいきなり中近東をアジアと言われても、ちょっと感じも違うし、随分、アジアと言われてもぴんとこない人もいっぱいいらっしゃるでしょうし、何となく青い目なんというのがアジアと言われると、ちょっと、えっという感じが普通の日本人の意識だと思えますけれども、少なくとも中央アジアを含めまして広大なユーラシア大陸の中にあって、私どもとしては、アジアというのが、六十億人で三十八億人ですから約六割ぐらいの人がアジアという地域に属しておりますので、そういう意味からいきますと、今一番伸びている地域というのは、どう考えてもこれ。

この間、SARSという病気がはりましたけれども、やはりあれがわっとあれだけ蔓延するというのは、基本的にその地域が停滞したら広がるはずがありませんから、人の行き来が激しいからぱっと広まるので、そういった意味では、私は、この地域というものは非常な勢いで、急激な勢いで広まっている分だけ、求心力じゃなくて遠心力も働くことにもなりかねません。そういった意味では、常日ごろから対話やら会話やらいろいろな会議でしょっちゅう顔を合わせておいて、おうと言って何となく話ができる、もし何かあったらぱっと電話する、そういったことができるような人間関係をふだんつくっておくというのはすごく大事なことで、ヨーロッパじゃしょっちゅうやっている話なんですよけれども。

したがって、こういった会議も、ヨーロッパじゃ、フランス大統領がイギリスに行ったって別に新聞に載らない、週末の会合じゃないかというようなもので、それが最も望ましい、余り話題にならない会話がふだん続いているから、逆に言えば、くちやくちや難しい話にもならず予備的に避けられるということになると思いますので、この種の会議というのは、私は、いろいろな形の会議というのはできるだけ開かれて、参加をし、人脈というかそういった信頼関係を醸成していくのはすごく大事だ、基本的にはそう思っております。

#### 笠井委員

今大臣が言われたことは私も非常に大事だと思うんです。世界の中でも特にアジアというのは大事な位置を占めている、そしてやはり大きく言えば、紛争についても、戦争じゃなくて平和的な話し合いで解決して、諸問題での協力と対話を促進するということが進んでいる。昨年の東アジア・サミット、首脳会議でも、東アジア共同体ということ展望しながら、この流れをやはり大きく加速していこうということが今世界の平和にとっても大事だということだと思うんです。

そこで、大臣、そういう流れの中で、日米同盟とか米軍再編というのはどんな位置づけになりますか。

#### 麻生国務大臣

日本とアメリカとの場合の日米関係というのは、先ほども民主党の方の御質問にお答えをしたと存じますが、日本という国の今置かれている地理的な条件は北東アジア、その北東アジアにおきましては、御存じのように、朝鮮半島の問題とか台湾海峡の問題とか極めて見通しがよく見えない、不確定、不透明な部分がまだ残っているという状況の中にあって、日本という国の安全というものを確保していく上にとりましては、日本一国で自主防衛ということができ得るかということ、核の問題やら何やらあってなかなか難しいという状況にあったときには、いわゆる日米安全保障条約に基づいて日本の安

全保障を確保するというやり方なんだと思っております。これが一点。

では、それもやめる、それで自主防衛だというのであれば、それは金もかかるという点もありましょうけれども、もう一つは、日本の経済力に応じて自主防衛ということになっていくと、この大きな経済力のもとで自主防衛ということになっていった場合、今のような状況より違って、隣国においてそれを望むであろうかという問題は、私は、新たな脅威と言われかねぬという問題も含めて、別の面からまた検討せねばならぬ問題だと考えております。

#### 笠井委員

私は、アジアの大きな流れの中での日米同盟、米軍再編のことを伺ったんですが、アジアの協力対話のようなさまざまな枠組みの中で、例えば日米同盟の役割というのを明文的に書いているものはないと思っておりますよ、そういういろいろな機構、枠組みで。アジアの平和的な話し合いの流れの中で、また、地域の大多数の国々は非同盟の立場ということであれば、米軍再編、自衛隊との一体化という軍事力強化の方向は明らかに異質のものであって、逆行するものだというふうに言わざるを得ないと思っております。

そこで、その米軍再編の問題で、政府はいわゆる抑止力の維持とともに、とりわけ沖縄の負担軽減ということを強調してきました。そこで、防衛施設庁に一点だけ確認しておきたいんですが、今度のロードマップでは、返還される沖縄の米軍基地として嘉手納基地以南の六施設が挙げられていて、一部返還のキャンプ瑞慶覧以外は全面返還ということになっております。本土では、相模の補給廠、座間関連の返還があるということですが、このはっきりしているものだけで、ロードマップが実施された場合に、全国の在日米軍専用施設の中で沖縄が占める比率は現在の何%からおおよそ何%に変化することになるか、端的に数字をお答えいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

#### 渡部政府参考人

お答えいたします。五月一日に2プラス2で承認されましたロードマップにおきましては、沖縄につきましては、今先生御指摘のとおり、キャンプ桑江、キャンプ瑞慶覧、普天間飛行場、牧港補給地区、那覇港湾施設及び陸軍貯油施設第一桑江タンクファームの六施設・区域を返還対象としまして、キャンプ瑞慶覧については部分返還、他の五つにつきましては全面返還を目指すこと、また、本土につきましては、相模総合補給廠及びキャンプ座間の一部を返還するというところで合意いたしましたところでございます。

それで、ロードマップが完了した時点での沖縄におきます米軍専用の施設・区域の占める割合につきましては、部分返還が予定されておりますキャンプ瑞慶覧の返還範囲が未確定であること、それから、新たに提供することになると思われます普天間飛行場あるいは那覇港湾施設の代替施設の施設面積が決定されていないということございまして、現時点におきましては不確定であることから、確たることを申し上げられる状況ではないということをご理解いただきたいと思っております。

他方、昨年十月の2プラス2共同文書におきましては、「双方は、この文書における勧告によって変更されない限りにおいて、S A C O最終報告の着実な実施の重要性を確認した。」とされておりますし、また、先般の2プラス2で合意されましたロードマップにおきましても、「S A C O最終報告の着実な実施の重要性を強調しつつ、S A C Oによる移設・返還計画については、再評価が必要となる可能性がある。」というふうな記載がされておまして、ロードマップに盛り込まれております土地の返還を論ずるに当たりましては、S A C Oの事案等のかかわりを考慮する必要があるというふうに考えておるところでございます。

そこで、ロードマップに盛り込まれております返還事案については、先ほど申し上げましたような不確定要素が多々あるわけでございますけれども、そうした不確定要素を除きまして、加えて、今後返還が予定されております神奈川県内の事案でありますとか、あるいは、沖縄県内における二十三事案あるいはS A C O事案等すべて予定されております返還事案につきまして計算、あえて試算してみ

まずと、ロードマップが完了する時点でこれらすべてが終了しているという仮定のもとにあえて試算いたしますと、沖縄における在日米軍の専用施設・区域の占める割合というのは、現在の約七五%から約七〇%になると見込まれております。(笠井委員「ごまかしちゃだめですよ」と呼ぶ)追加させていただきます。

その上で、先ほどの先生の御質問にお答えいたしますと、先ほど申し上げました不確定要素を除きまして、ロードマップにおいて合意されました返還事案、これは九百十三ヘクタールプラスアルファということになるわけでありまして、この九百十三という部分のみが完了したという仮定であえて試算したとしますと、沖縄における在日米軍専用施設・区域の占める割合というのは現在の約七五%から約七四%程度になるのではないかというふうに見込まれます。

#### 笠井委員

ごちゃごちゃ説明して、あれこれ言ったんですけれども、結局、七五%から七四%という話ですよ。

私は、いただいた数字をもとに、不確定だとかいろいろ言われたけれども、計算、防衛庁の数字だと七四・六%が現在で、それが七三・八%ということであります。わずか〇・八%ということです。

大臣、最後に一言ですが、大臣は、沖縄には日本じゅうの基地のほぼ七五%、七四%が集中しているというふうなことで言われて、この部分に関しては沖縄に過重にかかっている部分で何とかすべきではないか、一日でも早く削減を、負担軽減をということを言われました。そして、繰り返しそのことを言われて、米軍再編による沖縄の負担軽減の意義を強調されましたが、今お聞きのように、これが実施されても、はっきりしているロードマップによる効果というのはわずか〇・八から一%という話ですが、これをどうお考えですか。

#### 麻生国務大臣

土地面積だけでいえばそういうことになろうと思えますけれども、しかし、一番問題だった密集地域の、普天間から北に移るといのは大きな負担軽減じゃないでしょうか。僕は大きいと思えますけれどもね。また、兵隊の数も減る、これも大きいと思えますが。

#### 笠井委員

終わりますが、今、減るところ、集中しているところ、九百とか八百九十五とかいう数がありますが、これはその地域にとってみれば当たり前です、軽減になるといいというのは。しかし、大臣が強調されたのは、いつも、七五%だ、だからこれを減らすんだということ言われたけれども、実際には、やってみたら一%行かないぐらいの話でありまして、そのわずか一%未満ということで、この面積が減るから沖縄の負担軽減のために国民は応分の負担をしてくれ、ほかに移っても我慢してくれ、こういう形で二兆円、三兆円という負担増を求める、こんなやり方でいいのかということが問われると思えます。改めてこの問題を追及したいと思えます。終わります。